

**不適合情報**

2021年6月29日(火)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。  
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。  
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

[https://www.tepco.co.jp/niigata\\_hq/data/inside/pdf/image1.pdf](https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf)

1. G I グレード 0件

2. G II グレード 0件

3. G III グレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	原子炉複合建屋地下5階(管理区域)除染廃液系排水槽ピット壁面に、地下水と思われる水の浸入(約80cc、汚染なし)を確認した。拭き取り実施済み。当該箇所を点検・修理。	2021/06/23	
2	3号機	サービス建屋地下1階コールドランドリー室の乾燥機(D)動作中、ヒーター(左側)の異常により乾燥機が停止していることを確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2021/06/22	
3	5号機	タービン建屋(管理区域)の低線量エリアで作業に従事していた協力企業作業員の $\gamma$ ・ $\beta$ 線用警報付ポケット線量計が鳴動したため、線量計の異常と判断し退域処理を行い退域したが、線量計が鳴動したことを保安監視員に報告を行わず、線量計も充電器に返却していたことを確認した。当該線量計を回収。線量計に異常を確認した場合は、保安監視員に報告して退域することを周知徹底。なお、当該作業員の線量については、作業エリアの線量が0.001mSv/h未満であり、同一作業員の線量計計測値も0.00mSvであったことから、0.00mSv未満であったと評価。	2021/06/23	
4	7号機	タービン建屋補機冷却系熱交換器入口鉄イオン注入流量計に、指針の固着を確認した。当該計器を点検・修理。	2021/06/23	
5	7号機	タービン建屋補機冷却系熱交換器入口鉄イオン注入配管に、詰まりを確認した。当該配管を点検・清掃。	2021/06/24	